

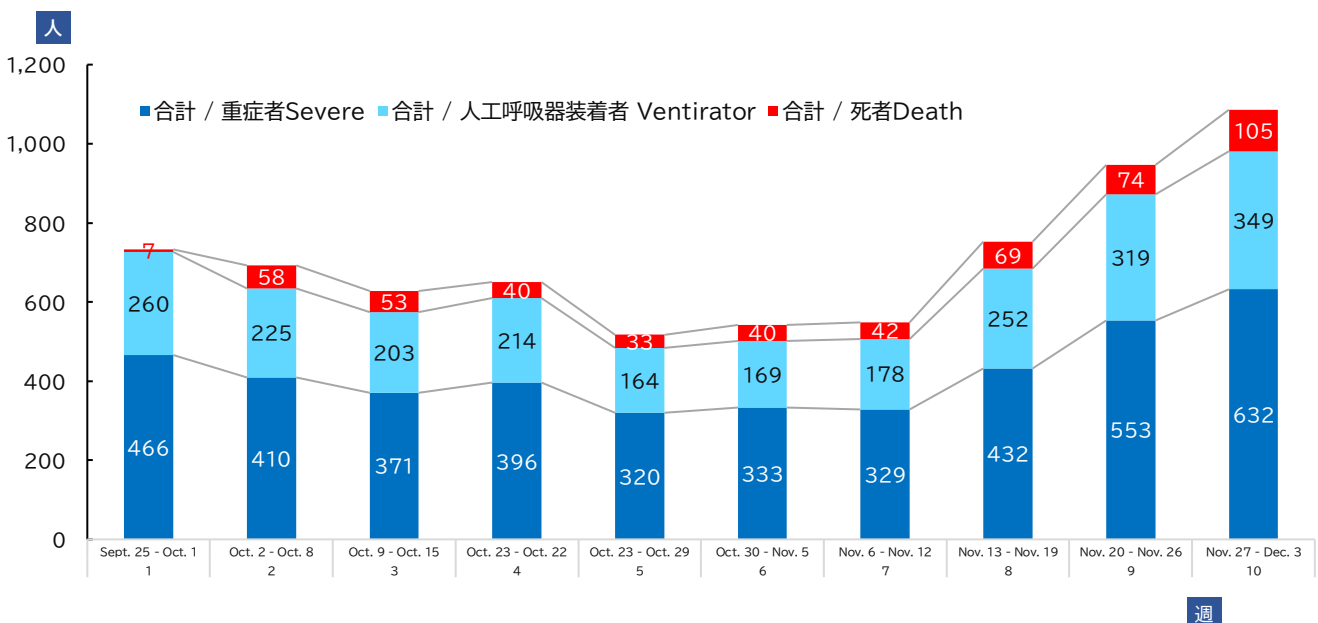
## タイにおける現地情報(Vol.03, No.8 December 2022)

2022年12月13日  
HS-TECH ENGINEERING  
橋本真也  
Sunisa Thammaphrot

### 1 各種指標の推移

#### 1.1 新型コロナ(重症者・人工呼吸器装着者・死者)

タイは10月1日、新型コロナに関する「実質的なパンデミック終息宣言」が発表された<sup>1</sup>。ところが、図・表 1-1 に示したとおり、新型コロナ三指標(重症者・人工呼吸器装着者・死者)の週間推移は、10月の第5週目を底にして増加に転じた。ヒトの移動量の増加もその要因の一つかも知れない。日間死者数が312人と過去最悪を記録した昨年8月18日と比べれば、10週目の死者数(日間平均)はその1/15であるが、今後の推移とタイ政府の対応に注視する必要があるようだ。



図・表 1-1 コロナ3指標の推移(週間)  
公衆衛生省のデータから作成

#### 1.2 ワクチン接種率

新型コロナ三指標が悪化(図・表 1-1)に転じているにもかかわらず、主要各都県のワクチン接種率は1回目および2回目も8月頃からほとんど改善していない。タイ全土においても12月2日時点で1回目および2回目の接種率がそれぞれ79.7%、74.9%、さらに3回目の接種率は45.1%で1ヶ月前と比べてもわずか0.17ポイントしか向上していない。

<sup>1</sup> Covid-19 を「危険な伝染病」から「監視下の伝染病」に格下げすることが官報で示された。

### 1.3 疾病

図・表 1-2 に 2020 年第 1 四半期から 2022 年第 2 四半期までの主な疾病に関する罹患者数の推移を示した。タイでは肺炎患者が最も多くデング熱、インフルエンザ、手足口病と続く。バンコクをはじめタイのいたる所で野良犬を見かけるが、狂犬病は四半期で最大 2 件だけ

図・表 1-2 主な疾病の罹患者数推移

合計 / value		年									
		2020				2021				2022	
分類	区分	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
健康および疾病	肺炎	77,549	29,430	35,389	54,035	47,665	32,500	46,461	26,651	39,727	45,769
	デング熱	9,183	18,159	36,187	8,601	2,530	3,088	2,677	1,661	1,247	8,701
	インフルエンザ	99,365	4,957	8,293	10,987	5,967	2,537	1,070	1,124	1,351	4,744
	手足口病	5,512	1,153	5,003	21,642	13,023	3,723	1,360	902	619	4,049
	レプトスピラ症	269	334	526	512	245	275	269	361	201	485
	赤痢	679	573	586	396	469	351	214	169	322	362
	脳炎	275	190	266	177	272	153	122	116	168	154
	麻疹	746	146	194	126	111	65	23	28	32	38
	髄膜炎菌熱	5	3	2	5	3	3	2	2	2	2
	狂犬病	0	2	1	0	0	2	1	0	1	0
	コレラ	0	1	2	2	0	0	0	0	0	0

出所：国家統計事務所のデータから作成



タイの医療システムを支えるビレッジヘルスボランティア、タイ全土で 100 万人を超える。地域拠点病院で基本的な医療処置訓練も受けている。

(ラヨン県マブタプット市役所、2014 年 8 月撮影)



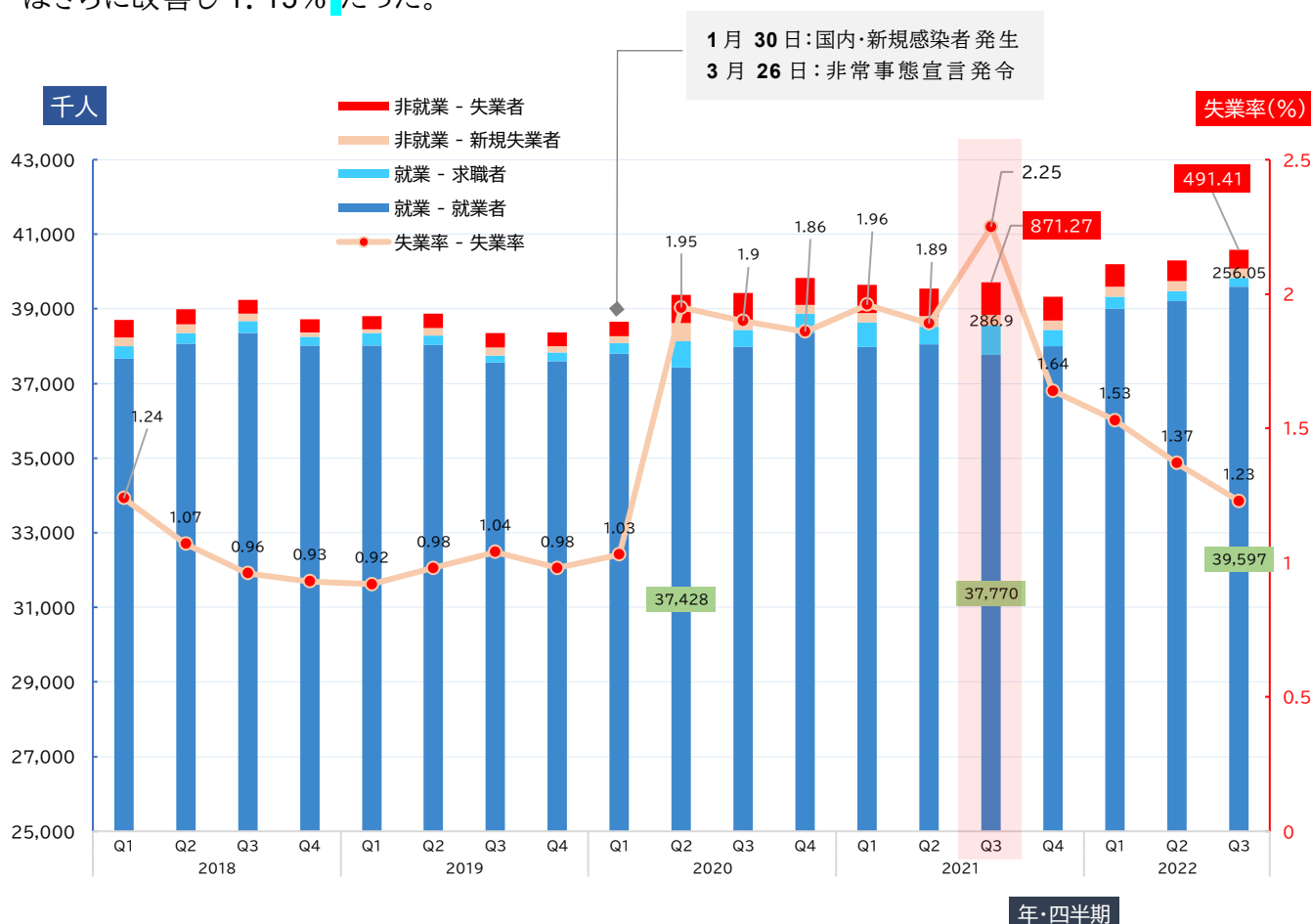
木目が美しい複合材料 (中国産がほとんど)

カンナビス(大麻)を処方するクリニック。あくまで医療行為として本年 6 月 9 日から使えるようになった。娯楽目的で吸引した場合、懲役 3 ヶ月以下または罰金 25,000 バーツまたは併科。吸引による障害が発症しても医療保険は適用外。ナイトクラブ等での摘発が頻発。

### 1.4 雇用状況

図・表 1-3 に 2018 年第 1 四半期から 2022 年第 3 四半期までの失業率、就業者、求職者、新規失業者および失業者数の推移を示した。2021 年第 3 四半期は非就業者数が 115.8 万人で失業率が 2.25% を記録し最も悪化した。失業率はその後改善され 2022 年第 3 四半期は 1.23%、

非就業者数も 74.7 万人と最悪期に比べて 41.1 万人も減少した。また、本年 9 月単月の失業率はさらに改善し 1.15%<sup>2</sup>だった。



図・表 1-3 雇用状況  
出所: タイ中央銀行のデータから作成

### 1.5 主要国からの入国者数

本年 1 月から 10 月までの主要国からタイへの入国者数<sup>3</sup>(月ごと)は 91.7 万人(図・表 1-4)。一方、我が国からの 10 月の入国者は 37,186 人で 9 月と比べて 651 人の微増に止まった。ところがいわば戦時下にあるロシアからの入国者が 9 月と比べて約 2.8 倍の 44,314 人とは驚きだ。これはタイ政府の積極的なロシア人(ASEAN 諸国、インド人も同様)誘致政策の効果であろう。

また、公式発表はまだ出ていないが、11 月のタイへの入国者は 173 万人で当初の予測 150 万人を超えるようだ。12 月もこのままで推移すれば 2022 年の入国者総数は 1,200 万人に達し、過去最高を記録した 2019 年の 3,980 万人の約 30%となる。そして 2024 年には 2019 年のレベルに回復すると楽観視しているが、景気の後退や中国からの入国者が最大のカギであろう。

<sup>2</sup> [https://www.bot.or.th/App/BTWS\\_STAT/statistics/BOTWEBSTAT.aspx?reportID=638&language=eng](https://www.bot.or.th/App/BTWS_STAT/statistics/BOTWEBSTAT.aspx?reportID=638&language=eng)

<sup>3</sup> 商用、私用、観光を含めた「タイへ入国した者」を示す。

図・表 1-4 主要国からの入国者数の推移

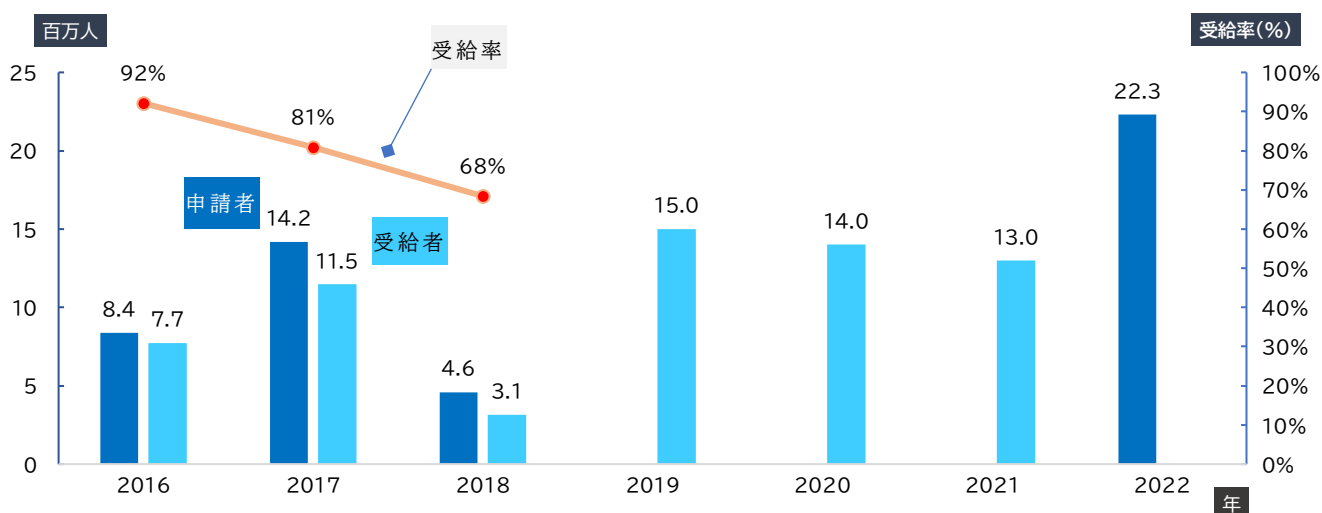
	January	February	March	April	May	June	July	August	September	October	November	December	総計
<b>China</b>													
2022	3,110	4,898	5,730	8,728	14,930	20,040	27,175	29,985	32,302	35,410			182,308
2021	5,619	5,649	7,746	6,784	6,020	5,060	1,830	5,132	4,890	2,894	2,328	4,515	58,467
2020	1,055,051	170,920	65,789	3,832	3,714	3,406	3,629	4,176	4,285	4,600	5,937	6,678	1,332,017
2019	1,092,427	1,086,647	1,006,204	917,934	815,380	855,485	1,002,747	1,051,501	871,443	829,435	822,254	878,147	11,229,604
2018	1,001,450	1,241,007	1,039,204	1,019,677	899,159	931,879	960,479	899,835	675,132	676,649	706,207	871,266	10,921,944
<b>Malaysia</b>													
2022	1,090	2,120	4,548	10,793	57,869	124,211	220,554	221,166	332,493	316,537			1,291,381
2021	13,289	13,104	15,343	14,425	11,309	11,427	4,345	11,901	11,221	7,495	1,506	2,450	117,815
2020	358,894	209,911	101,515	9,870	12,613	13,120	13,647	12,262	13,041	13,106	13,183	13,230	784,392
2019	314,460	396,356	378,856	395,965	331,848	528,673	335,837	422,521	361,892	350,773	404,919	546,610	4,768,710
2018	283,219	318,356	350,006	342,208	293,298	417,955	328,349	431,623	415,736	348,543	473,643	626,720	4,629,656
<b>Lao</b>													
2022	108	358	894	2,200	18,645	31,304	49,299	72,419	83,891	86,591			345,709
2021	199	212	236	171	109	132	179	111	94	100	195	355	2,093
2020	286,347	252,140	169,416	238	233	255	299	239	197	256	174	259	710,053
2019	253,855	228,455	249,969	290,394	256,123	273,396	285,351	288,899	255,222	257,953	256,889	274,804	3,171,310
2018	252,451	226,842	240,285	252,375	236,837	245,699	252,606	256,161	224,255	221,794	222,087	250,713	2,882,105
<b>Korea</b>													
2022	2,150	2,369	3,539	5,223	16,184	25,702	59,226	66,573	58,552	73,225			312,743
2021	1,174	1,268	1,376	1,355	1,449	1,219	817	1,244	1,244	1,005	4,171	4,569	20,891
2020	214,213	58,504	10,593	699	733	775	822	1,352	1,206	993	1,244	1,499	292,633
2019	223,078	198,604	159,041	128,071	121,804	149,999	175,307	190,112	154,577	140,282	167,250	193,983	2,002,108
2018	208,231	169,103	152,847	123,055	129,790	148,850	160,921	171,854	142,933	141,579	165,511	187,598	1,902,272
<b>India</b>													
2022	2,080	2,646	12,142	27,309	78,286	113,394	106,139	113,769	116,386	126,606			698,757
2021	2,555	2,541	2,403	2,048	1,705	1,701	689	1,572	1,617	1,550	1,067	4,524	23,972
2020	167,048	94,509	19,573	1,813	1,709	1,615	1,767	2,211	2,128	2,114	2,562	2,446	299,495
2019	176,139	134,702	173,002	171,394	181,626	199,516	169,644	179,239	163,534	167,380	184,715	199,261	2,100,152
2018	140,477	114,156	128,212	127,951	163,892	158,704	136,919	137,407	130,957	126,166	150,797	176,311	1,691,949
<b>Japan</b>													
2022	2,400	2,136	4,704	11,164	11,872	16,874	28,394	39,297	36,535	37,186			190,562
2021	3,078	2,405	3,372	3,799	3,086	3,347	2,768	2,954	4,579	3,298	2,238	3,656	38,580
2020	162,817	140,602	29,645	649	627	717	1,051	1,656	2,680	2,485	2,519	2,817	348,265
2019	160,988	168,214	163,636	154,536	121,469	128,255	138,985	203,680	158,938	140,282	159,555	168,838	1,867,376
2018	149,561	149,671	149,739	124,204	113,406	122,966	132,731	186,863	146,646	127,185	154,507	159,756	1,717,235
<b>Russia</b>													
2022	23,760	17,862	9,197	5,223	7,116	8,221	6,936	9,170	15,900	44,314			147,699
2021	911	787	683	890	797	721	472	758	825	987	5,836	21,205	34,872
2020	267,609	225,857	126,850	441	459	400	512	590	446	413	526	823	624,926
2019	241,099	201,612	204,549	114,245	59,096	48,545	49,233	48,812	54,624	111,088	192,599	232,912	1,558,414
2018	236,733	204,456	206,065	133,181	60,454	51,005	52,529	53,100	52,641	105,944	174,125	214,172	1,544,405
<b>USA</b>													
2022	7,315	8,244	14,185	17,116	24,333	34,430	43,923	37,659	38,704	57,302			29,744
2021	1,477	1,309	1,446	2,048	1,979	1,760	4,177	3,058	2,474	2,156	7,960	16,642	46,486
2020	119,213	76,806	26,215	323	387	232	475	1,266	876	8	917	1,260	227,978
2019	124,254	104,149	116,519	100,828	85,491	98,273	95,834	75,769	69,242	88,079	126,558	137,500	1,222,496
2018	115,260	95,396	111,628	92,657	83,764	93,023	90,891	73,431	67,498	86,375	123,068	136,430	1,169,421
<b>Vietnam</b>													
2022	447	1,618	2,916	5,287	18,905	40,832	60,981	73,897	64,559	71,228			340,670
2021	1,435	1,474	1,723	1,523	1,426	1,332	309	1,329	1,250	826	239	914	13,780
2020	77,581	48,167	25,584	1,327	1,164	970	896	1,007	933	1,121	1,414	1,641	161,805
2019	65,308	80,935	92,995	105,340	102,735	137,838	137,270	110,752	88,117	80,844	91,732	78,956	1,172,822
2018	67,711	68,114	89,199	100,061	103,743	133,888	132,299	112,548	85,413	84,996	87,011	80,259	1,145,242
<b>Singapore</b>													
2022	1,042	3,096	7,954	17,943	38,032	60,165	56,673	58,930	69,957	68,148			381,940
2021	268	330	301	254	413	246	474	568	610	476	983	4,055	8,978
2020	81,155	34,485	15,511	26	46	50	96	143	139	143	230	246	132,270
2019	77,688	79,541	90,273	73,740	83,255	116,906	78,963	90,862	89,230	81,325	113,645	143,099	1,118,527
2018	77,925	74,572	99,295	71,794	86,488	110,522	77,554	91,448	87,600	84,814	112,305	141,537	1,115,854

出所: 2021年11月までは入国管理局、それ以降は観光・スポーツ省のデータから作成

## 2 タイには生活困窮者が 22.3 百万人!?

図・表 2-1 に国家福祉カード(State Welfare Card:「SWC」) の申請者および受給者の推移を示した。SWC はタイ国籍を保有者する18才以上の国民で、年間 10 万バーツ(約 39 万円)未満の収入で資産も同等額以下の生活困窮者には下記に示した費目ごとに一定の金銭が支給される<sup>4</sup>。また、年齢の上限はない。

実質的なパンデミック終息宣言<sup>1</sup>が既に10月1日に発効し、雇用環境も大幅に改善(図・表 1-3)したかに見えるタイであるが、2022年10月は約22.3百万人も国民がSWCを申請し、2018年の申請者の4.9倍だ。統計値が確認できる15才以上の人口58.7百万人(本年第3四半期)と比較すると、実に38.0%もの国民がSWCを申請したことになる。なお、2019年から2021年の申請者数は公表されていないようだ。また、受給条件を満たした生活困窮者にSWCが必ずしも行き渡っておらず、不正受給の頻発やSWCの売買事例を指摘したフィールド調査<sup>5</sup>もある。



図・表 2-1 国家福祉カードの申請者数および受給者数の推移

出所:各所のデータから作成

### 主な支給費目と金額

- 物品購入費 200～300 バーツ/月
- 公共交通機関を利用する際の交通費 500 バーツ/月
- 調理用ガスの購入に 3 カ月間 45 バーツ、または弱者とみなされる人には同期間 100 バーツを割り引く
- 315 バーツ/月以下の電気代補助、または 315 バーツを超えない範囲で実際の支出に対する補助
- 各家庭の水道代 100 バーツ/月
- 障害者には特別に 200 バーツ/月
- 小規模業者には調理用ガスに月 100 バーツ
- 60 歳以上の人には実収入に応じて月 100 バーツ

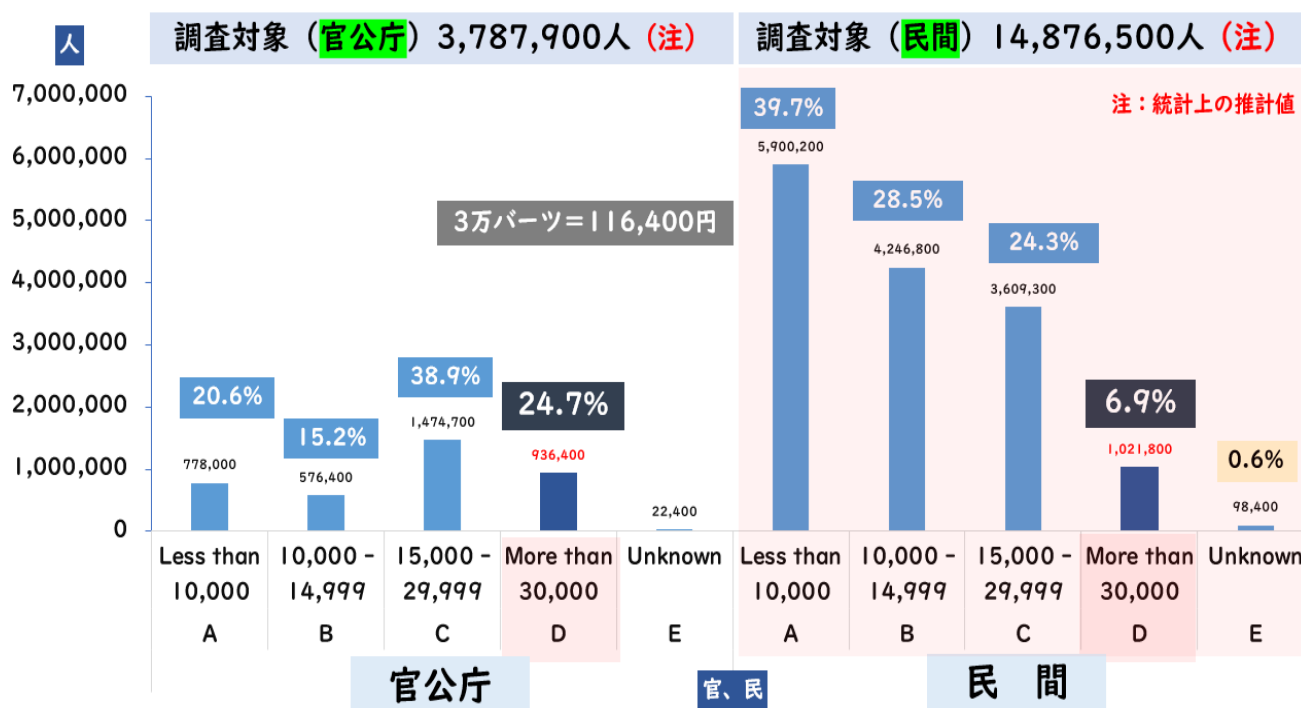
<sup>4</sup> 年ごとに支給基準および支給内容が異なる。2022 年の詳細は財務省のマニュアル(タイ語のみ)による。

<sup>5</sup> Wannaphong Durongkaverroj, Cash subsidies for the poor: Evaluating Thailand's welfare card scheme, Aug. 2022 [<https://crawford.anu.edu.au/publication/working-papers-trade-and-development/20496/cash-subsidies-poor-evaluating-thailands>]



国家統計事務所のタイ全土労働力調査<sup>6)</sup>によれば、2022年第2四半期におけるタイの民間セクターの就労者で月収 10,000 バーツ(39,000 円)未満の『ほぼ生活困窮者<sup>7)</sup>』は 39.7%、月収 10,000~15,000 バーツ(58,500 円)未満の『生活困窮者予備軍』が 28.5%で、合計 68.2%の国民が年間 180,000 バーツ(702,000 円)未満だ。しかも同調査(図・表 2-3)によれば民間セクターの就労者で「付加的な報酬」のうち、賞与を支給されている者はわずか 2.2 万人で調査対象者の 0.2%にも満たない。

2021年の一人当たりの名目 GDP が 7,336 米ドル(806,960 円、一米ドル 110 円)の「中進国タイ」は、コロナ禍にあった 2019 年、2020 年および 2021 年にはそれぞれ 15 百万人、14 百万人および 13 百万人もの SWC 保有者を抱えていた。コロナ以前の 2017 年ですら約 11.5 百万人が SWC を所持していた<sup>8)</sup>。



図・表 2-2 タイ人の月収(2022年第2四半期)

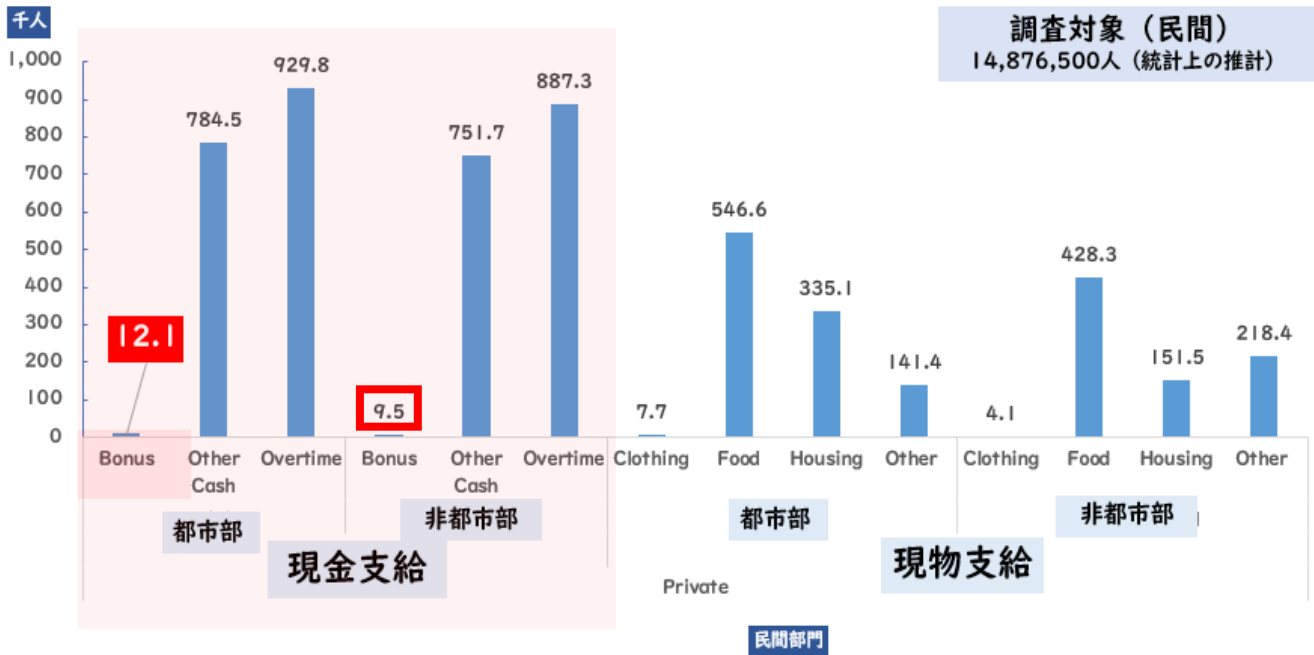
国家統計局のデータから作成

[THE LABOR FORCE SURVEY WHOLE KINGDOM QUATERY 2: APRIL - JUNE 2022](https://www.nso.go.th/sites/2014en/Survey/social/labour/LaborForce/2022/fullreport_q1_2022.pdf) から作成

<sup>6)</sup> [https://www.nso.go.th/sites/2014en/Survey/social/labour/LaborForce/2022/fullreport\\_q1\\_2022.pdf](https://www.nso.go.th/sites/2014en/Survey/social/labour/LaborForce/2022/fullreport_q1_2022.pdf)

<sup>7)</sup> SWC は Poverty Card とも呼ばれていることから、筆者らはその保持者を「生活困窮者」とした。なお、世界銀行の定める国際貧困ライン(1.9 米ドル/日以下で生活する層)とも異なる。

<sup>8)</sup> CREDIT SUISSE 証券グループの 2018 年 [Global Wealth Report](#) によれば、タイは世界で最も富の偏在が激しい国の一つとされていた。しかしその記録は同社の 2022 年版のデータブックからは消えていた。



図・表 2-3 タイ人が受けている付加的な報酬

出所：図・表 2-2 と同じ



高級タイシルクの反物  
(バンコク都内)



50 パーツ (約 200 円)



### 3 バンコク点描

つい最近、「中国超市」なるコンビニ・スーパーが近所に新規開店した。2021年頃からタイで出店を開始し、バンコク都内だけでも30店舗を超える勢いだ。手に取りたくなるようなパッケージは筆者には見当たらなかったが、タイ人の客足はいつも悪くない。在タイの日系小売業も油断してはられない。



購買意欲をそそるような品は？



以上